中西部
ヤングサッカーニュース
2014 1
発行人　一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者　竜木義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

いざブラジルへ！長谷部 誠

ワールドカップイヤーの2014年が幕を開けた。前回の南アフリカ大会から日本代表のキャプテンとして引き続き長谷部誠選手。今年のブラジル大会に向けて新たなチャレンジが始まった。

～ message ～

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、個人的に移籍を経験したり日本の地でワールドカップ出場権を獲得出来たり、様々な経験をした一年になりました。とても充実していましたし、サッカー選手としても一人の人間としても成長出来たと思っています。

今年はブラジルW杯があります。日本中の皆さんが期待し注目してくれる大会です。まずはメンバーに選ばれるように所属チームのNurnberg（ニュルンベルク）で日々を大切に頑張っていきます。そしてブラジルの地で中西部地区の皆さんに喜んでもらえるような試合、結果を出して来たいと思っています。僕達が、頑張る事で日本サッカーの未来が明るくなります。これからの世代の為にも、未来が明るくなるようなサッカーを世界の舞台で魅せてきます。

最後に、僕はサッカーどころ静岡中西部地区で育ちました。僕はその誇りを常に胸に持っています。そして次の世代の日本代表にこの地から沢山の選手が選ばれる事を願って止みません。子供達だけでなく、指導者の方や親御さん達の情熱も大きな鍵です。サッカー王国静岡の明るい未来を僕は信じています。

今年一年も皆さんに沢山の幸福が訪れるように祈っています。

1.FCニュルンベルク（ドイツ）　MF
1984年1月18日生
青島東SSS→青島中学校→藤枝東高校→浦和レッドダイヤモンズ→ヴォルフスブルク

FIFAワールドカップ・ブラジル大会

FIFAワールドカップ・ブラジル大会が6月12日に開幕する。日本はグループステージC組でコートジボアール、ギリシャ、コロンビアの3か国と対戦する。いずれもFIFAランキングは日本より上位だが、まずは決勝トーナメント進出を、そして前回のベスト16を上回る成績を目指して、厳しい戦いに臨む。

グループステージ日本の試合日程

なでしこジャパン 定着に期待 北原 佳奈

昨年9月22日に行われたナイジェリアとの国際親善試合で、なでしこジャパンとして初出場を果たした藤枝市出身の北原佳奈選手。今年は連覇を狙うFIFA女子ワールドカップ・カナダ2015の出場権獲得をかけた、AFC女子アジアカップが5月14日からベトナムで開催される。まずはこの大会に出場できるように、なでしこジャパン定着に期待がかかる。

昨年のなでしこリーグは8位で失点も多く、どうすれば良いか迷ったこともありましたが、なでしこジャパンに呼んでもらい、自分に足りないことが分かりました。そして最後の皇后杯で準優勝という結果を残せ、成長できたと思える一年でした。

日本代表の佐々木監督からは、もっとチャレンジするように言われ、思い切ってプレーできるようになりました。また先輩選手からもラインコントロールなどについてアドバイスをもらい、自分のプレーの幅が広がり、自信にもなりました。

今年は1対1など守備の技術をさらに上げ、気持ちの面でももっと強くして、まずは自分自身が成長し、チームでも結果を残したいと思います。そしてワールドカップにも絡んでいけたらいいと思います。

サッカーのまち藤枝でプレーしてきたことで今の自分があります。代表になりたい気持ちを持ち続けて取り組んできたので実現しました。みなさんも頑張ってください。そして応援をよろしくお願いします。

アルビレックス新潟レディース　DF
1988年12月17日生
藤枝FCバンビーズ→清水第八SC→藤枝FCアミーガ→藤枝順心高校→関東学園大学

U-16日本女子代表 AFC U-16女子選手権 優勝

FIFA U-17ワールドカップ出場権獲得

昨年の9月26日から10月6日まで中国で行われたAFC・U-16女子選手権で、朝鮮民主主義人民共和国との決勝をPK戦の末に制して優勝を果たしたU-16日本女子代表。それとともに、今年の3月15日からコスタリカで開催されるFIFA・U-17女子ワールドカップの出場権を獲得した。

そのU-16日本女子代表に、藤枝順心高校の杉田妃和と児野楓香の2選手が選出され、主将を任された杉田は、グループステージ2試合と準決勝、決勝の全4試合に出場。6得点を記録するなどで大会MVPに選ばれた。また、児野も全試合に出場し2得点を挙げ、優勝に貢献。日本が初優勝を目指すFIFA・U-17女子ワールドカップでの活躍も期待したい。

杉田 妃和

MF　1997年1月31日生
二島FC→FCグローバル（福岡県）→藤枝順心高校（2年）

児野 楓香

FW　1998年1月15日生
シルフィードFC→名古屋FCレディース→名古屋FC→藤枝順心高校（1年）

グループステージ日本の試合日程

期日	時間（日本時間）	対戦相手	会場
3/16(日)	14：00(17日5：00)	スペイン	チバス
3/19(水)	20：00(20日11：00)	パラグアイ	チバス
3/23(日)	17：00(24日8：00)	ニュージーランド	サンホセ

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 2
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第22回 全日本高校女子サッカー選手権大会

藤枝順心 準優勝

全日本高校女子サッカー選手権大会は1月11日から16日まで磐田市で開催され、藤枝順心が7大会ぶりに決勝へ勝ち進み、日ノ本学園に敗れたものの準優勝となった。

1回戦から河野朱里が3戦連続で先制ゴールを奪い勢いをつけ、順当に準決勝に勝ち上がった藤枝順心。相手は前回、雨中の準々決勝でPK戦の末に敗れた常盤木学園。3連覇を目指す相手に、パスをつなげて積極的に攻め上がる。だが、ともに得点なく迎えた後半16分に、カウンターで先行を許す。選手交代をして打開を図るがゴールは遠く、万事休したかと思われたロスタイムに、島村友妃子のクロスボールを途中出場の黒崎優香が頭で合わせて、起死回生の同点ゴールを生んだ。試合はこのままPK戦に突入し、相手2人が失敗して4対2で勝ち、昨年の雪辱を果たした。

日ノ本学園と対戦した決勝は、サイドに展開して突破を図るも中には合わずにいたが、前半45分に杉田妃和が放ったシュートがゴールに突き刺さり、先制点を奪った。だが後半に入ると相手の攻撃が勢いを増し、14分に追いつかれると2分後には逆転を許す。21分に追加点を奪われるが、果敢にゴールに向かい、28分の杉田のシュートはポストを直撃、跳ね返えりに島村が詰めるも相手GKの好守に阻まれ得点を奪えない。すると32分に4点目を奪われ、7大会ぶりの優勝にあと一歩届かず、涙をのんだ。

試合結果

〈1回戦〉
藤枝順心　5―1　山陽女学園
〈2回戦〉
藤枝順心　1―0　福井工業大学附属福井
〈準々決勝〉
藤枝順心　2―0　大商学園
〈準決勝〉
藤枝順心　1―1（PK4―2）常盤木学園
〈決勝〉
日ノ本学園　4―1　藤枝順心

J3リーグ開幕

藤枝MYFC J3リーグ初年に挑む

©FUJIEDAMYFC

ホーム初戦は3月16日

今季から開催されるJ3リーグは3月9日に開幕する。その初年に参戦する藤枝MYFCの開幕戦は、アウェイでのFC町田ゼルビア戦、ホーム初戦は第2節の3月16日、藤枝総合運動公園サッカー場でJリーグ・アンダー22選抜と対戦する。

このチームは、Jリーグでの出場機会に恵まれない若手選手に試合経験を積ませることで、U―22年代の強化を目的に参加するもの。前述の2チームを含めて、昨年は同じJFLに所属していたチームを中心に、12チームによる3回戦総当たり戦で争う。

水島武蔵新監督のもと、市川大祐選手ら昨年からの11選手に、新たに11選手を加え（2月14日現在）、J3リーグの厳しい戦いに向けてスタートを切った。運営などで協力して、みんなで応援していこう!!

みんなで協力と応援をしていこう!!

藤枝MYFCの試合日程（期日の▭はホームゲーム）

	期日	時間	対戦相手	会場
1	3/ 9(日)	13:00	FC町田ゼルビア	町田市立陸上競技場
2	3/16(日)	13:00	Jリーグ・アンダー22選抜	藤枝総合運動公園サッカー場
3	3/23(日)	13:00	F C 琉 球	藤枝総合運動公園サッカー場
4	3/30(日)	13:00	AC長野パルセイロ	佐久総合運動公園陸上競技場
5	4/ 6(日)	13:00	福島ユナイテッドFC	藤枝総合運動公園サッカー場
6	4/13(日)	13:00	ガイナーレ鳥取	藤枝総合運動公園サッカー場
7	4/20(日)	13:00	S C 相 模 原	相模原ギオンスタジアム
8	4/26(土)	13:00	Y. S. C. C. 横 浜	藤枝総合運動公園サッカー場
9	4/29(祝)	13:00	グルージャ盛岡	盛岡南公園球技場
10	5/ 4(日)	13:00	ツエーゲン金沢	藤枝総合運動公園サッカー場
11	5/11(日)	13:00	ブラウブリッツ秋田	秋田市八橋運動公園球技場
12	5/18(日)	13:00	Jリーグ・アンダー22選抜	藤枝総合運動公園サッカー場
13	5/25(日)	13:00	Y. S. C. C. 横 浜	藤枝総合運動公園サッカー場
14	6/ 1(日)	15:00	ツエーゲン金沢	石川県西部緑地公園陸上競技場
15	6/ 8(日)	未定	AC長野パルセイロ	未 定
16	6/15(日)	未定	F C 琉 球	未 定
17	6/22(日)	15:00	ガイナーレ鳥取	チュウブYAJINスタジアム
18	7/20(日)	17:00	グルージャ盛岡	藤枝総合運動公園サッカー場
19	7/27(日)	15:00	S C 相 模 原	相模原ギオンスタジアム
20	8/ 3(日)	17:00	FC町田ゼルビア	藤枝総合運動公園サッカー場
21	8/10(日)	16:00	ブラウブリッツ秋田	秋田市八橋運動公園球技場
22	8/24(日)	15:00	福島ユナイテッドFC	とうほう・みんなのスタジアム
23	8/31(日)	17:00	Jリーグ・アンダー22選抜	藤枝総合運動公園サッカー場
24	9/ 7(日)	未定	F C 琉 球	沖縄市陸上競技場
25	9/14(日)	未定	S C 相 模 原	藤枝総合運動公園サッカー場
26	9/21(日)	未定	ガイナーレ鳥取	とりぎんバードスタジアム
27	10/ 5(日)	未定	グルージャ盛岡	盛岡南公園球技場
28	10/12(日)	未定	福島ユナイテッドFC	未 定
29	10/19(日)	未定	ツエーゲン金沢	石川県西部緑地公園陸上競技場
30	11/ 1(土)	未定	AC長野パルセイロ	エ コ パ ス タ ジ ア ム
31	11/ 9(日)	未定	ブラウブリッツ秋田	未 定
32	11/16(日)	未定	Y. S. C. C. 横 浜	横浜市三ツ沢公園陸上競技場
33	11/23(日)	未定	FC町田ゼルビア	藤枝総合運動公園サッカー場

新たな挑戦

藤枝順心高校
サッカー部 監督
多々良 和之

～ より高みを目指して ～

この度の全日本高等学校女子サッカー選手権大会においては、静岡県並びに中西部サッカー協会をはじめ、大変多くの方々から御支援を頂きました。また、県内開催の大会であったこともあり、会場まで足を運んで頂いたり、テレビ中継やインターネットを通して応援して下さり、本当にありがとうございました。このような素晴らしい舞台で思いっきりサッカーができたことを心より感謝し、まずはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

今年度のチームを評価すると、期待していた結果は残すことが出来ました。その大きな理由は、チームとしてのコンセプトや方向性など目指すものを明確にし、またそれを何年もかけ継続して追求し続け、年々それに向かってチームを確実に進化させてきたことが挙げられます。例えば、ボールポゼッション率を高め、主導権を握って試合運びをすることがチームの目指している一つですが、昨年と今年のチームのポゼッション率が同じであってもその中身に大きな違いがあります。今年は、相手ゴール近くまで確実にボールを運び、最後の所までしっかり相手の守備を崩すことが少しずつできるようになってきました。それは昨年の課題を選手が理解し、それを解決しようという意志を持って、そのためのアイディア（戦術）と実行力を身につけることを目指して、1年間通して取り組んできたからです。つまり、チームとしてのコンセプトや方向性などを目指しているものは同じですが、質を高めることや進化し続ける努力をしているということです。今年の3年生にしても、1年よりも2年、2年よりも3年というように、チームとしての取り組みはより高みを目指してチャレンジし続けることをしてきました。その結果の現れが今年の準優勝に結びついたと思っています。

しかし、今年の結果（内容）で満足しているわけではありません。チームの集大成として臨んだ今回の大会で、出来たこと、出来なかったことをしっかり分析し、また課題と目標を明確にし、今年のチームよりもさらに進化させる新たな挑戦をしていきたいと思います。そして、来年こそ優勝し、結果でその成果を現せるようにしたいと考えています。

平成25年度 静岡県トップアスリート派遣事業（サッカー）

藤枝東高校出身プロ選手招き実践講習を開催

様々なスポーツで日本のトップ選手を招いて若い選手と一緒に練習を行う「静岡県トップアスリート派遣事業（主催・静岡県教育委員会）」のサッカー競技が、今年も12月25日に藤枝市民グラウンドで実施された。岡田隆選手、山田大記選手（ともにジュビロ磐田）、河井陽介選手、藤田息吹選手（ともに清水エスパルス）、石神幸征選手（水戸ホーリーホック）の藤枝東高校出身のプロ選手5名が参加して、藤枝、青島、青島北、金谷の4中学校の1・2年生約130名とともにトレーニングを行った。

中西部を中心とする県内の高校や中学校の指導者がコーチとなり、4ブロックに分かれて指導。プロ選手は手本となるプレーをみせ、中学生と一緒に汗を流した。参加した中学生は、プロの技術の高さや正確性、周りの見方などが勉強になったと感想をアンケートに綴っていた。

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 3
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第20回 静岡県O-35サッカー選手権大会

中西部選抜 ３連覇

県内５支部の各選抜チームで争う静岡県O－35サッカー選手権大会は２月２日、16日に磐田市ゆめりあで行われ、中西部選抜が３連覇した。

予選リーグで２連勝してBリーグ１位で決勝トーナメントに進んだ中西部選抜は、準決勝で西部選抜Aと対戦した。優位に進めるもゴールを奪えず、無得点のままPK戦に突入すると、GK渡辺隆之が３人を止める活躍をみせ、４対３で勝利した。西部選抜Bとの対戦となった決勝は、前半11分に先制を許すも、後半10分に相手パスをカットした河村憲生がドリブルで持ち上がりゴール前に送ると、小澤剛が押し込み追いつく。そして３分後に小澤の折り返しを相馬孝正が決めて一気に逆転。28分には牧野直樹のクロスを宮崎真一が競ってこぼれたボールを再び小澤が蹴り込み突き放した。

なお、中西部選抜はこの優勝で、４月27日に草薙球技場で行われる日本マスターズ東海大会の出場権を獲得した。

予選リーグ試合結果

Aリーグ	中東部	中部	西部A	勝点	順位
中東部選抜		●0－4	●1－2	0	3
中部選抜	○4－0		○2－0	6	1
西部選抜A	○2－1	●0－2		3	2

Bリーグ	東部	中西部	西部B	勝点	順位
東部選抜		●0－1	●2－4	0	3
中西部選抜	○1－0		○7－0	6	1
西部選抜B	○4－2	●0－7		3	2

決勝トーナメント試合結果

中部選抜 1
西部選抜B 4
→ 1
中西部選抜 0（4PK3）
西部選抜A 0
→ 3
中西部選抜

平成25年度 静岡県高校女子サッカー新人大会

藤枝順心 11連覇!!

藤枝順心 VS 磐田東

静岡県高校女子サッカー新人大会は決勝トーナメントが２月９日、16日、23日に行われた。準決勝で常葉学園橘に３点を奪って勝利した藤枝順心は、藤枝総合運動公園サッカー場で行われた決勝で磐田東と対戦した。U－17日本女子代表候補の合宿で杉田妃和を欠くも、終始ボールを支配し優位に進める。そして前半28分に島崎友妃子の右CKを八浪直香が頭で合わせると、相手GKがキャッチしきれずこぼれたところへ詰めていた黒崎優香が押し込み先制。後半には、11分にスルーパスを肝月萌がGKを交わして蹴り込み、28分に八浪とのワンツーパスで黒崎が決めて２点を加え快勝。11連覇を果たした。

１月の全日本高校女子選手権準優勝から１か月。その経験者が多く残った藤枝順心だが、その中でディフェンダー４人は３年生が務めていたため、総入れ替えとなった。今大会無失点ではあったが全国を見据えると、まずはそのディフェンスを安定させていくことが必要となる。

常葉学園橘 22－0 吉原
清水国際 0－3 藤枝順心
藤枝順心 15－0 磐田東
磐田東 4－0 藤枝北
藤枝北 0（5PK4）0 桐陽
藤枝順心 3－0 常葉学園橘

決勝トーナメント試合結果

藤枝順心

平成25年度 静岡県高校新人サッカー大会

藤枝明誠、藤枝東が第３位

男子の県高校新人サッカー大会は２月９日から23日まで行われた。藤枝明誠は準々決勝で富士東を延長戦で振り切り準決勝に進んだ。準決勝では清水桜が丘と対戦し、前半は相手のパワーに引き気味になっていたが、後半は一転好機を作り出す。そして13分に濱託巳のパスを受けた新川海里がミドルシュートを決めて先制点を奪う。だが36分に同点にされるとロスタイムに攻め上がった後のカウンターで決められ、逆転負けを喫した。

準々決勝で島田商業との中西部対決を制した藤枝東は、準決勝で浜松開誠館と対戦。相手に攻め込まれるもGK長沢祐弥の好守などでしのいだが、後半４分に相手のロングスローでゴール前に入ったボールを決められ、これが決勝点となり、昨年に続く決勝進出はならなかった。

清水桜が丘 3－1 飛龍
飛龍 2－1 藤枝明誠
藤枝明誠 3（延長）2 富士東
富士東 1－0 島田商業
島田商業 8－0 藤枝東
藤枝東 1－0 浜松開誠館
浜松開誠館 1－0 静岡学園
浜松開誠館 0（3PK4）0 藤枝明誠

試合結果（準々決勝以降の試合のみ）

藤枝東 VS 浜松開誠館

藤枝明誠 VS 清水桜が丘

第29回 静岡県ヤングサッカーフェスティバル

静岡県ヤングサッカーフェスティバルは３月９日に藤枝総合運動公園サッカー場で開催された。中西部支部内の高校の指導者が中心となって運営され、島田工業高校サッカー部員がボールパーソンを務めるなどした。

U－16の部

U－16静岡選抜で中西部登録選手１名が出場

今年の長崎国体出場を目指すU－16静岡選抜が、U－16東京選抜と対戦した。前半には１点を奪った静岡は後半にも２点を加えて快勝した。ともに中学３年生と高校１年の早生まれの選手で構成されたチームで、静岡選抜には藤枝明誠高校１年の高橋央樹がボランチで出場した。

このU－16静岡選抜は、３月22日から31日までイタリアに遠征し強化を図る。

女子の部

静岡県女子ユース選抜で中西部登録選手５名出場

静岡県女子ユース選抜がJFAアカデミー福島女子と対戦した。この県選抜は県トレセンU－18から選出された高校１・２年生で構成され、国体女子チームの基盤となり３月19日から23日まで韓国へ遠征するメンバー。中西部登録選手では、島村友妃子、仲田朝香、青島由季、鈴木菜緒、鈴本彩乃（いずれも藤枝順心高校２年）の５選手が出場した。

試合は後半21分に先行を許すも、５分後に鈴木菜緒の折り返しを佐々木佑香が決めて追いつく。だが31分に決勝点を奪われ惜敗した。

男子の部

静岡県ユース選抜で中西部登録選手３名が出場

静岡県ユース選抜が、全国高校選手権の優秀選手を中心に選出された日本高校選抜と対戦した。前半15分にCKから先制されるが、17分と21分に北川航也の２ゴールで逆転。しかし32分に同点にされると、後半はともに得点なく引き分けた。

県ユース選抜に中西部登録では、藤枝東高校のGK長沢祐弥とFW小谷春日、藤枝明誠高校のFW大塚聖磨の３選手が出場した。

新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
少女部中西部支部長
山内 稔之

～ 中西部少女サッカーの活動について ～

U－12中西部少女の活動は平成23年度まではトレセンとして選抜された支部内の女子選手の育成に当たってきましたが、24年度からU－12中西部女子アカデミーとして、その対象を支部内全少女選手として月１回第２木曜に藤枝順心高校グラウンドで開催しています。現在、県下に少女チームは16で中西部には５で（ちなみに少年チームは県下323）まだまだ発展途上の環境の中、広く門戸を開放し、所属チームに関わらずサッカー少女達の繋がりを深めるのが主な目的でしたが、お蔭様で24年度90名、25年度74名の参加がありました。（トレーニングは夜間のため基本的には３年生以上対象）トレーニングはほぼゲーム主体ではありますが、アップを兼ねた最初の30分は藤枝順心高校の選手達が主導して合同トレーニングを行っており、これも選手達には刺激になっている様子がうかがえ、後半のゲームではお互いライバルとなり皆真剣に取り組んでくれています。また、年数回は「チャレンジマッチ」と称して近隣少年チームとも対戦させていただき、より有意義な活動になるように試みています。（少年チームとは１学年のハンディをいただいておりますが、お互い「女子には負けない」と「１つ下には負けない」がうまく交錯しているようです）

また26年度の４種改革に伴い、「U－12東海ガールズ８」は選抜チーム大会となるため、このアカデミーに集まった小６選手を対象とした「中西部支部選抜チーム」が静岡県予選に出場する可能性もあります。現時点で大会規約未定）

少年サッカーにおいては静岡県、その中でも中西部地区は全国一の歴史と伝統を持ち、多くの熱心な指導者の下で数多くの選手達が切磋琢磨しそのレベル向上を目指しているこの環境の中、少女サッカーもそれに追いつけ追い越せで日々精進を続けて参りますので、今後も皆様のご協力と御指導御鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 4
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

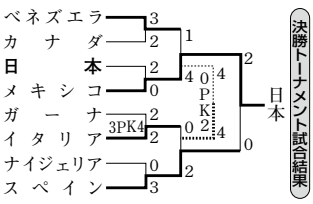
FIFA U-17女子ワールドカップ コスタリカ2014

日本の初優勝に2選手が貢献

グループステージ試合結果

グループC	日本	スペイン	ニュージーランド	パラグアイ	勝点	得失差	順位
日本		○2-0	○3-0	○10-0	9	15	1
スペイン	●0-2		○3-0	○7-1	6	7	2
ニュージーランド	●0-3	●0-3		△1-1	1	-6	3
パラグアイ	●0-10	●1-7	△1-1		1	-16	4

決勝トーナメント試合結果



FW 児野 楓香
藤枝順心高校2年

MF 杉田 妃和
藤枝順心高校3年

３月15日から４月４日までコスタリカで開催されたＦＩＦＡ・Ｕ－17女子ワールドカップで、Ｕ－17日本女子代表が初優勝を果たした。その日本代表で藤枝順心高校のＭＦ杉田妃和（すぎたひな）とＦＷ児野楓香（このふうか）の２選手が活躍し、日本の優勝に貢献した。

日本はグループステージのリーグ戦で３連勝。初戦のスペインに２得点で勝利すると、続くパラグアイには終盤に杉田の３得点や児野がＰＫを決めるなどで、大量10点を奪って大勝した。そして、前の２戦とはメンバーを替えて臨んだニュージーランド戦でも３得点して、グループ１位で決勝トーナメント進出を決めた。

決勝トーナメント１回戦は、44分に日本の２点目を杉田が決め、メキシコを２対０で下した。ベネズエラとの準決勝では、後半18分に杉田がＰＫを決めるなどで４得点。アディショナルタイムに日本の唯一の失点となるゴールは許すも、反撃を抑えて決勝に進んだ。

決勝の相手は、グループステージ初戦で対戦したスペイン。前半５分に先制すると、後半33には相手のオフサイドラインをうまく抜けた児野が、落ち着いて決め、日本の優勝を決定づける２点目を奪った。

大会MVPに杉田妃和

日本代表のキャプテンを務めた杉田妃和が、大会ＭＶＰに選ばれた。ボランチとして好守の起点となり、パラグアイ戦でのハットトリックを含め５得点。ＦＫやＣＫのセットプレーではキッカーを任され、アシストも記録した。上のカテゴリーでの活躍にも期待がかかる。

児野楓香 大一番で大仕事

スペインとの決勝戦。日本は早々に先制したが、その後は詰めを欠いて追加点を奪うことができずにいた。だが、児野が後半16分に途中出場すると、積極的にシュートを放つ。そして迎えた33分のゴール。起用に応え、貴重な追加点を奪う大仕事を成し遂げた。

藤枝東高校

藤枝明誠高校

高円宮杯U-18サッカーリーグ2014 プリンスリーグ東海 開幕

藤枝東と藤枝明誠が参戦 プレミアリーグ昇格目指す

藤枝東高校と藤枝明誠高校が参戦するプリンスリーグ東海が、４月12日に開幕した。10チームによる２回戦総当たり戦で争われ、高校総体県大会と高校総体や日本クラブユース選手権の全国大会のある夏休み、そして高校選手権県予選の期間を除き、今季はこれまでより長く12月６日まで行われる予定になっている。そして上位２チームがプレミアリーグへの参入戦の出場権を得る。なお、プレミアリーグの昇格、降格チームの有無によって、プリンスリーグ残留チーム数が変わる。

開幕戦で藤枝東は帝京大可児（岐阜）と対戦し両サイドを起点とする攻撃で、前半14分にＣＫから新村瑚が押し込み先制すると24分には川本紘平が決めて、２点のリードで折り返す。後半11分に１点を返されるが、19分に松田優也、39分には山田盛央のゴールで２点を追加し、快勝した。

県高校新人大会優勝の浜松開誠館と対戦した藤枝明誠は、前半に相手の攻勢をしのぐと、後半12に内山星哉がＰＫを決めて先制点を奪う。だが17分と30分に失点し、逆転負けを喫した。

参加チーム（10チーム）
静岡学園高校
ジュビロ磐田Ｕ－18
藤枝東高校
浜松開誠館高校
中京大学中京高校
清水桜が丘高校
藤枝明誠高校
帝京大学可児高校
東邦高校
磐田東高校

新たな挑戦

焼津中央高校サッカー部
顧問
大塚 智紀

～ やれないのか、やらないのか ～

今年度より焼津中央高校サッカー部顧問になりました。昨年度までは藤枝中学校サッカー部顧問として活動してきました。高校と中学校の部活指導を経験して、特に感じたことを挙げさせてもらいます。

●指導者は環境を作ってあげないといけない。

中学校の部活では時間の制限があり、練習量の確保という点では難しい。だからこそ、指導者の練習の質を問われた。与えられた中で最大限の効果を得るために、我々指導者はもっと頑張らなくてはいけない。そして、そこで指導者自身が燃えていれば、選手の心の火は灯せると思う。

●考える力

自分から率先して行動を起こさない。誰かに、いつも何かを言われなければ行動ができない。「いつ」「何を」「どこで」「どうやって」反応するか」。そういう考える力に欠けている。日常生活の中でも同じことが言える。

●地域の連携の必要性

特に中学校と高校の連携の必要性を感じることが多かった。４種と３種、３種と２種がもっと連携をとって、地域の選手を育てていくことをしなくてはいけない。

言うことは簡単だが、どうやって選手を変えるか。平均的な選手が多いと言われるが、指導者自身にも同じことが言えると思う。ナンバーワンになるために、オンリーワンとなって頑張っていきたい。

藤枝明誠の試合日程（４月15日以降の試合のみ）

	期日	時間	対戦相手	会場
前期	4/19(土)	11:00	ジュビロ磐田	藤枝総合サッカー場
	4/26(土)	13:00	東邦	名古屋商科大学
	4/29(祝)	11:00	静岡学園	藤枝総合サッカー場
	5/ 3(土)	14:00	中京大中京	藤枝明誠高校G
	6/28(土)	11:00	藤枝東	藤枝東高校G
	7/ 5(土)	16:00	磐田東	藤枝明誠高校G
	7/12(土)	16:00	帝京大可児	藤枝明誠高校G
	7/19(土)	11:00	清水桜が丘	J-STEP
後期	8/30(土)	16:00	浜松開誠館	藤枝明誠高校G
	9/ 6(土)	11:00	ジュビロ磐田	ゆめりあ多目的G
	9/13(土)	15:00	東邦	藤枝市民G
	9/20(土)	11:00	静岡学園	藤枝市民G
	9/23(祝)	未定	中京大中京	未定
	9/27(土)	11:00	藤枝東	藤枝明誠高校G
	11/22(土)	11:00	磐田東	ゆめりあサッカー場
	11/29(土)	11:00	帝京大可児	TEIKYOけやきフィールド
	12/ 6(土)	12:00	清水桜が丘	藤枝明誠高校G

藤枝東の試合日程（４月15日以降の試合のみ）

	期日	時間	対戦相手	会場
前期	4/19(土)	11:00	清水桜が丘	草薙球技場
	4/26(土)	11:00	浜松開誠館	藤枝東高校G
	4/29(祝)	13:00	ジュビロ磐田	ジュビロ上大之郷G
	5/ 3(土)	13:00	東邦	名古屋商科大学
	6/28(土)	11:00	藤枝明誠	藤枝東高校G
	7/ 5(土)	11:00	中京大中京	藤枝東高校G
	7/13(日)	11:00	静岡学園	清水総合運動場
	7/19(土)	11:00	磐田東	藤枝東高校G
後期	8/30(土)	11:00	帝京大可児	飛騨古川ふれあい広場
	9/ 6(土)	11:00	清水桜が丘	藤枝東高校G
	9/13(土)	11:00	浜松開誠館	浜松開誠館総合G
	9/20(土)	11:00	ジュビロ磐田	藤枝東高校G
	9/23(祝)	11:00	東邦	藤枝東高校G
	9/27(土)	11:00	藤枝明誠	藤枝明誠高校G
	11/22(土)	14:00	中京大中京	名古屋市港サッカー場
	11/29(土)	11:00	静岡学園	藤枝東高校G
	12/ 6(土)	12:00	磐田東	ゆめりあサッカー場

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 5
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

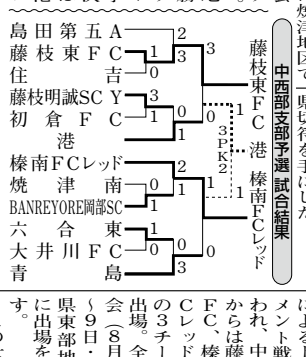
第38回 全日本少年サッカー大会
藤枝東FC、榛南FCレッド、港SSS 3チームが県大会出場

中西部地区予選

全日本少年サッカー大会の中西部地区予選が4月27日、5月3日に焼津地区で行われ、県大会に出場する3チームが決まった。

中西部内4地区の各予選を勝ち上がった12チームによるトーナメント戦で争われた。代表決定戦で、まずは藤枝東FCが港を、榛南FCレッドが青島をそれぞれ破り、県大会出場を決めた。そして第3代表決定戦では、港が青島にPK戦の末に競り勝ち、最後の県切符を手にした。

中西部支部予選 試合結果



藤枝東FCジュニア

榛南FCレッド

港SSS

藤枝東FCジュニア　大石　哲平

僕たち藤枝東FC6年は、今まで一度も県大会に出場できずとても悔しい思いをしてきました。しかし、今年はその思いをバネにして、コーチの指導、父母・他の学年のサポート、そして6年みんなの力を結集して県大会への切符を勝ち取る事ができました。

初めての県大会、伝統ある藤枝東の藤色ユニフォームの重みを一人一人感じ、チーム一丸となって全力でプレーし優勝を目指して戦います！

榛南FCレッド　赤井　陽向

僕たち榛南FCジュニアは予選を接戦で勝ち抜き、県大会出場を決めました。しんきん、しずぎんカップ中西部予選では後一歩のところで負けてしまったので、県大会に出場できて、すごく嬉しかったです。県大会では、チーム一丸となって全力で悔いのないように、自分たちのサッカーをして良い結果を残せるように頑張りたいです。

港SSS　森田　海都

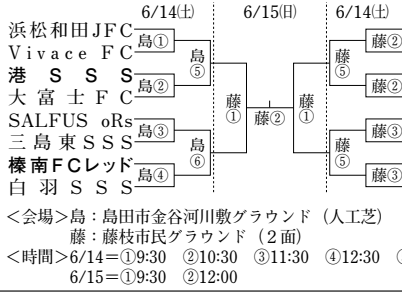
僕達、港SSSは昨年に続き2年連続の出場になります。5年のしずぎんカップ中西部予選では、県大会をあと一歩のところで逃した悔しさをバネに練習してきました。昨年の県3位という成績に今年も近づけるように、持ち味のチームワークで勝ち上がって行きたいと思います。そして、どこにでも駆けつけてくれる大応援団の声援を受けて、港のサッカーを貫き、勝って校歌をみんなで歌いたいと思います。

静岡県大会

全日本少年サッカー大会静岡県大会 組み合わせ

静岡県大会は6月14日、15日に藤枝市民グラウンドなどで開催される。16チームによるトーナメント戦で争われ、中西部からは藤枝東FC、榛南FCレッド、港の3チームが出場。全国大会（8月4日～9日・静岡県東部地区）に出場を目指す。

この大会はフジパンCUP・U-12大会の予選を兼ね、上位2チームが10月26日に愛知県で開催される東海大会の出場権を得る。



＜会場＞島：島田市金谷河川敷グラウンド（人工芝）
藤：藤枝市民グラウンド（2面）
＜時間＞6/14＝①9:30　②10:30　③11:30　④12:30　⑤14:00　⑥15:00
6/15＝①9:30　②12:00

第35回 松永杯争奪中西部中学生サッカー大会 ［静岡県U-15サッカーチャンピオンシップ2014中体連の部 中西部地区予選］

島田第二中学校　両校優勝　葉梨中学校

松永杯争奪中西部中学生サッカー大会は、29校が参加して争われた予選リーグから16校が勝ち上がり、決勝トーナメントが実施された。そして最終日の5月3日に順位決定戦が行われた。

決勝に勝ち進んだのは葉梨と島田第二。前半7分、島田第二が前線に抜け出した松下ケリーのゴールで先制点を奪う。葉梨も積極的にシュートを放ち、後半10分にCKを神戸周が頭で合わせて追いつく。試合はこのまま引き分けで終了し、両校優勝となった。この大会は静岡県U-15チャンピオンシップの予選を兼ねるため、順位決定のPK戦を行い、4対3で勝った葉梨が1位となった。

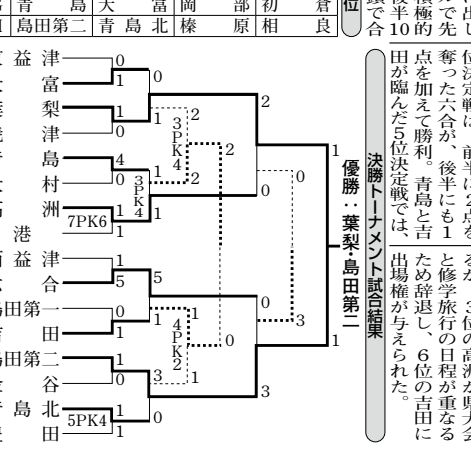
高洲と六合が対戦した3位決定戦は、前半に2点を奪った六合が、後半にも1点を加えて勝利。青島と吉田が臨んだ5位決定戦では、前後半に1点ずつを奪った青島が吉田を下した。これにより5位までに入った葉梨、島田第二、六合、高洲、青島の5校は中体連志太榛原大会のシード権を獲得した。

また、チャンピオンシップは上位5校が出場権を得るが、3位の高洲が県大会と修学旅行の日程が重なるため辞退し、6位の吉田に出場権が与えられた。

予選リーグ最終順位

	1位	2位	3位	4位
A	東益津	葉梨	附属島田	――
B	豊田	島田第一	中川根	――
C	西益津	高洲	川根	――
D	港	大村	大洲	和田
E	吉田	金谷	大井川	小川
F	焼津	六合	藤枝	広幡
G	青島	大富	岡部	初倉
H	島田第二	青島北	榛原	相良

決勝トーナメント試合結果



新たな挑戦

U-17日本女子代表
藤枝順心高校サッカー部
杉田　妃和

～ 世界大会優勝、それは次のステップへのスタート ～

昨年の代表チーム始動から目指していた世界大会優勝という目標を達成できたことは嬉しいです。しかし、これはスタートに過ぎず、次のステップに向かって頑張って行かなければならないと思っています。

今大会で感じたことは、後ろからの声掛けの重要性です。また、当たり負けしないということで、日本人選手は身体が小さいですが、体幹を鍛える練習もあり最後まで寄せることができました。キャプテンとしては、監督から周りに声を掛けて、いろいろなところで視野を広くするように言われたことで、大会前はバランスを取ることや上がるタイミングをつかむことが難しかったのですが、修正して初戦に臨め、調子も上がっていきました。その中で5点を決められたり前を向いて展開できたりと、思うようにできたこともありましたが、課題も見つかりました。一試合を通して変わらないプレーのできる体力面や、足もとの技術の質をもっと上げていくことです。そして、次のカテゴリーの代表に選ばれるように、さらに、なでしこジャパンで活躍するという夢に向かって、一つ一つの目標を達成できるように頑張りたいと思います。

3月15日から4月4日まで行われたFIFA U-17女子ワールドカップで、初優勝を遂げたU-17日本女子代表。そのキャプテンを務め、大会MVPにも輝いた杉田妃和選手に、大会を終えた今の思いを語ってもらった。

とがあり、合宿でも新しく入ってきた選手とコミュニケーションを取るようには心掛けました。ですが、選手みんなが率先して行動することでチームワークの良さにつながったと思います。

アジア大会とは違うポランチのポジションだったので、大会前はバランスを取ることや上がるタイミングをつかむことが難しかったのですが、修正して初戦に臨め、調子も上がっていきました。その中で5点を決められたり前を向いて展開できたりと、思うようにできたこともありましたが、課題も見つかりました。一試合を通して変わらないプレーのできる体力面や、足もとの技術の質をもっと上げていくことです。そして、次のカテゴリーの代表に選ばれるように、さらに、なでしこジャパンで活躍するという夢に向かって、一つ一つの目標を達成できるように頑張りたいと思います。

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 6
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

平成26年度 一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部 総会 開催

平成26年度の一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部総会が、５月17日にベルヴィロワーヌで開かれた。深津三郎会長の挨拶で始まり、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の事業計画と収支予算に役員改選や規約改正案が議事として説明され、いずれも満場一致で承認された。

最後に、昨年度に好成績を収めたチームや選手などの表彰が行われた。

平成25年度 一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部 功労表彰者（敬称略）

特別表彰

杉田 妃和　児野 楓香
U-17日本女子代表
ＦＩＦＡ U-17女子ワールドカップ コスタリカ2014　優勝

功労賞

志水 義隆 前中西部支部副会長　内田 晃生 前中西部支部１種委員長
田中 博英 前中西部支部女子委員長　石上 信之 前中西部支部シニア委員長

優秀指導者

鈴木 貴繁
第42回全国自治体職員サッカー選手権大会　準優勝

優秀団体

藤枝市役所サッカー部
第42回全国自治体職員サッカー選手権大会　準優勝
O-35中西部支部選抜
静岡県O-35サッカー選手権大会　優勝
パイシャオンＦＣ
全国クラブチームサッカー選手権大会静岡県大会　優勝
焼津フットボールクラブ
静岡県社会人サッカーリーグ２部　優勝
焼津信用金庫サッカー部
静岡県社会人サッカーリーグ３部　優勝
藤枝東高校
第92回全国高等学校サッカー選手権大会静岡県大会　優勝
藤枝トレセンU-12
ろうきんカップ第８回静岡県U-12トレセン８人制サッカー大会　優勝
第10回NHGループカップ東海ユースU-12･8人制サッカー大会　準優勝
藤枝順心高校
第22回全日本高等学校女子サッカー選手権大会　準優勝
藤枝順心ＳＣジュニアユースブルー
第18回全日本女子ユース（U-15）サッカー選手権大会　優勝

長谷部誠選手 W杯日本代表に選出

日本時間の６月13日に開幕したＦＩＦＡワールドカップ・ブラジル大会に出場する日本代表に、長谷部誠選手が選出された。南アフリカ大会に続く２回目のＷ杯出場となる。今年１月に負った右ひざのケガから復帰したばかりだが、キャプテンとして日本代表の精神的な主柱としても不可欠な存在であり、活躍に期待したい。

一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部 平成26年度重点目標

１．全国大会の開催・運営
皇后杯全日本女子サッカー選手権大会　藤枝総合運動公園サッカー場ほか

２．普及・強化
当地区においては低年齢層から高齢者まで幅広くサッカーが普及しております。平成26年度は中西部協会チームより県大会の上位進出、ならびに全国大会に出場できるようにサポートしていきます。また、地域住民の関心を高め生涯スポーツとしてのサッカー普及に取り組みます。

３．指導者のレベル向上
サッカーの技術の向上とともに、日常生活のルールとマナーを守る選手を育てられる指導者づくりを目指します。

４．審判員の養成と技術の向上
サッカーのレベルアップのためには審判員の技術向上が不可欠です。リスペクト精神を奨励し選手とともに試合を作り上げ、当地区のサッカーレベル向上のために良い審判員の養成を目指します。

第19回 全日本女子ユース（U-15）サッカー選手権大会静岡県大会
藤枝順心SCJYブルー初優勝 全国大会出場決定

全日本女子ユース（U－15）サッカー選手権静岡県大会で、藤枝順心ＳＣジュニアユースブルーが初優勝を果たした。６月１日に行われた決勝に進出した藤枝順心ＳＣブルーは、常葉学園橘中学校と対戦した。前半８分にこぼれ球を望月美怜が押し込むと、徐々にペースをつかむ。そして追加点は奪えなかったが、この１点を守り切り、橘中学を相手に始めて勝利した。

また、決勝トーナメント１回戦で島田プリンセスとの中西部対決を制した藤枝順心ＳＣジュニアユースホワイトが、初のベスト４入りした。

ホワイトも東海大会出場権獲得

今回は全国大会での東海の出場枠増加により、東海大会が参加チーム数を増やして実施されることになった。さらに昨年の藤枝順心ＳＣジュニアユースブルーの全国優勝で、優勝地域枠が東海に加わり、その優勝枠が静岡県に与えられた。それに伴い、昨年より３チーム多い上位５チームが東海大会に出場し、さらに静岡県１位は東海大会ではスーパーシードとして全国大会の出場権も得ることになった。そのため、藤枝順心ＳＣブルーは昨年自らが勝ち取った優勝枠で東海大会と共に全国大会の出場権も獲得した。また、藤枝順心ＳＣホワイトも初の東海大会出場を決めた。

県大会の試合結果と東海大会の組み合わせは２面に掲載

新たな挑戦

焼津市サッカー協会
理事長
黒松 則行

～新任の御挨拶～

この度焼津市サッカー協会の理事長に就任しました黒松です。皆様宜しくお願い致します。最初に鈴木前理事長20年間ご苦労様でした。今度は焼津市サッカー協会会長としてお力添えくださいますようにお願いします。さて、私は４種や女子の種別に携わる事が多く焼津４種委員長と静岡県４種委員を経験し大変貴重な６年を過ごす事が出来ました。今度はすべての種別に対しての仕事となりますが頑張りたいと思います。

焼津のチームは１種では３チームが県リーグを戦い特に焼津ＦＣは昨年度県２部で優勝して今年は県１部で戦います。山田代表以下選手達全員が東海リーグ参入を目標に26年度も頑張ってくれると信じています。２種では新しい校名になった清流館高校が新たな歴史を築くと共に、他の２校と共に県大会優勝を目指して頑張って頂きたいと思います。３種では部活動でサッカーを続ける選手が少なくなっている現状ですが、顧問の先生方の熱い指導の下で県大会優勝を目指して頑張って頂きたいと思います。４種では２年連続で全日少県大会に出場する港少年団には焼津代表として昨年の３位以上の成績を残せるように頑張って頂きたいです。女子、シニアのチームにも頑張って頂きたいと思います。

最後に２０１８年ロシアワールドカップに村松大輔選手が選出される事を祈念しまして理事長新任の挨拶とさせて頂きます。

葉梨が準優勝

静岡県U-15サッカーチャンピオンシップ2014 中体連の部
第35回静岡県中学生サッカー選手権大会

静岡県Ｕ－15チャンピオンシップの中体連の部となる静岡県中学生サッカー選手権大会が６月１日まで行われ、葉梨が準優勝した。

36校によるトーナメント戦で争われ、葉梨は東海大翔洋を破った浜松天竜に準々決勝で勝利し、準決勝では浜松丸塚と対戦した。早いプレッシャーでボールを奪い相手ゴールに迫る。前半23分にＰＫを得ると赤堀和樹が決めて先制。後半13分に追いつかれ突き放すことはできなかったが、ＰＫ戦で競り勝った。

常葉学園橘との決勝は、現在の３年生が準優勝した１年生大会の県決勝と同じカード。前半11分に先行を許すも、21分に前島俊哉のゴールで追いつく。だがその後に３点を奪われ、リベンジはならなかった。

（試合結果は２面に掲載）

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 7
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

藤枝でW杯パブリックビューイング開催 長谷部誠選手を応援

６月15日に行われたＦＩＦＡワールドカップブラジル大会の日本対コートジボワール戦で、藤枝総合運動公園多目的広場においてパブリックビューイング（主催：藤枝市・ＮＨＫ静岡放送局）が開催された。清水エスパルスの河井陽介選手と解説者の平野孝氏がゲストで登壇し、試合開始前やハーフタイム、試合終了後に解説などのトークイベントも催された。会場には約４，０００人が集まり、地元出身の長谷部誠選手に声援を送るなどして、戦況を見守った。長谷部選手は前半でベンチに退いたが、立ち上がってピッチの選手を鼓舞する姿が映し出され、代表キャプテンとしての存在感を示していた。日本は後半に逆転を許して１対２で敗れ、最終的に１分２敗で１次リーグ敗退を喫した。前回優勝のスペインやポルトガル、イタリアといった強豪国も決勝トーナメント進出を逃す、波瀾の大会となった。

第19回 スルガカップ争奪静岡県サッカー選手権大会 決勝大会
第94回 天皇杯全日本サッカー選手権大会静岡県予選
藤枝MYFC ２連覇　天皇杯出場

天皇杯予選を兼ねるスルガカップ争奪静岡県サッカー選手権大会は、決勝大会が６月８日から28日まで行われた。

決勝から登場した藤枝ＭＹＦＣは、２回戦で矢崎バレンテＦＣを破り勝ち上がってきたＨｏｎｄａ ＦＣと対戦した。開始すぐに相手のミドルシュートがバーに弾かれ救われると、そこから藤枝ＭＹＦＣのゴールショー。３分と８分にＣＫから大石治寿がともに頭で叩き込み、11分に満生充のクロスを中津留奨吾がヘディングシュート。19分には相手ボールを奪った大石治寿がロングシュートを放つと弧を描いてゴールイン。35分にも西山貴永が決め、５点のリードで折り返す。後半も11分に久富賢がゴールし、14分と29分にＣＫなどからＨｏｎｄａに２点を返されるが、31分にはスルーパスに抜け出た石井雄輔が決めて７点目を奪い快勝。２連覇と同時に天皇杯の本大会の２年連続出場を決め た。

決勝大会 試合結果
- Ｈｏｎｄａ ＦＣ 1 0
- 矢崎バレンテFC 6 0
- 芙蓉クラブ 1 0
- アスルクラロ沼津 2 1
- 静岡産業大学 2 0
- 藤枝ＭＹＦＣ 7

2連覇を目指せ!! 藤枝順心SCジュニアユースブルー
全日本女子ユース（U-15）選手権大会 組み合わせ

7/26(土) 7/27(日) 7/29(火) 7/30(水) 8/1(金) 7/30(水) 7/29(火) 7/27(日) 7/26(土)

- 楠クラブレディース(東海1) S2①
- 白岡ＳＣＬ(関東7) S2②
- ANCLASユース(九州2) S3①
- FC EFFRONTE(中国2) S2 10:00
- 日テレ・メニーナ・セリアス(関東2) S4①
- 豊田レディースFC(東海4) S4②
- 秋田L.F.C.ユース(東北3) S5①
- FC VICTORIES(関西1) S1 10:00
- クラブフィールズ・リンダ(北海道1) S2②
- FCシュロス松本VIVO(北信越2) S3①
- 栃木SCレディース(関東5) S3②
- 徳島ラティーシャ(四国1) S5 10:00
- ＦＣみやぎ(東北2) S4②
- 日置シーガルズFC(九州4) S5①
- ＯＭＥ－ＳＦＣ(関東4) S5②
- 藤枝順心SCジュニアユースブルー(東海2)

決勝 S1 12:30 ／ 3位決定戦 S1 10:00

- 浦和レッズレディースJr.ユース(関東1) S2③
- 西条中央SCひうちドリームス(四国2) S2④
- ナカスポ(東北4) S3③
- 神村学園中等部(九州3) S2 12:00
- ニューウェーブ北九州レディース(九州1) S4③
- CANA CRAVO FC(関東8) S4④
- とかちＦＣなでしこ(北海道2) S5③
- 青崎SC Hanako Clover's(中国1) S1 12:00
- 伊賀FCくノ一サテライト(東海3) S2④
- ザスパクサツ群馬U-15レディース(関東6) S3③
- ＦＣ ＢＬＯＯＭ(東北5) S3④
- アルビレックス新潟レディースU-15(北信越1) S5 12:00
- シェフユナイテッド市原・千葉レディースU16(関東3) S4④
- FC.フェルボールMIMOSA(東海5) S5③
- Ｓｍｉｌｅセレソン(関西2) S5④
- JFAアカデミー福島(東北1)

＜時間＞
① 9:30
②11:20
③13:10
④15:00

＜会場＞J-GREEN堺（大阪府堺市）S1・S2・S3・S4・S5ピッチ

第19回 全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 presented by NIKE

全日本女子ユース（Ｕ－15）サッカー選手権大会は７月26日から８月１日まで大阪府のＪ－ＧＲＥＥＮ堺で開催され、前回優勝の藤枝順心ＳＣジュニアユースブルーが２連覇を目指す。

全国９地域の代表32チームによるトーナメント戦で争われるこの大会。東海が前回優勝地域枠を得て、その出場枠が静岡県１位に与えられたため、藤枝順心ＳＣブルーは静岡県予選優勝で全国大会出場が決定した。東海大会では第１代表決定戦で楠クラブレディースに敗れ第２代表となったが、この悔しさをバネに全国に挑む。

（東海大会の結果は２面に掲載）

藤枝順心高校 目指せ全国制覇!
全国高校総合体育大会サッカー競技女子 組み合わせ

8/2(土) 8/3(日) 8/5(火) 8/6(水)

- 日ノ本学園(近畿1) 陸①
- 都立飛鳥(開催地) 陸①
- 藤枝順心(東海1) ニ①
- 宮崎日大(九州2) 陸①
- 県立鳴門渦潮(四国) 補①
- 常盤木学園(東北1) ニ①
- 日本航空(関東2) 味①
- 岡山県作陽(中国) 陸①
- 京都精華女子(近畿2) 味②
- 専大北上(東北2) ニ②
- 北海道文教大明清(北海道) 補②
- 開志学園JSC(北信越) 陸②
- 湘南学院(関東3) ニ②
- 梅村学園三重(東海2) 陸②
- 神村学園(九州1) 陸②
- 十文字(関東1) 陸②

＜会場＞駒沢オリンピック公園総合運動場
陸：陸上競技場　ニ：第二球技場
補：補助競技場
味：味の素スタジアム西競技場
＜時間＞①10：00　②12：30

平成26年度 全国高校総合体育大会サッカー競技女子

藤枝順心が３年連続で出場する全国高校総体のサッカー競技女子は、東京都で８月２日から６日まで行われる。全国９地域の代表16チームがトーナメント戦で争う。藤枝順心は１回戦を勝ち上がれば、総体２連覇中で１月の全日本高校女子選手権決勝で敗れた日ノ本学園と当たる可能性が高い。

（東海総体の結果は２面に掲載）

新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部技術委員長
福與 吉晴

～ H27年度 ３種中西部トレセン再編へ ～

過日の中西部支部技術委員会で３種のアカデミーの再編成に関わる議題が取り上げられた。昭和60年よりトレセン活動はヤングサッカーニュース編集に携わる滝本義三郎先生や藤枝明誠高校の田村和彦先生が中学教員としてリーダーシップを取り、中体連の選手の育成・強化を毎週１回、藤枝東高校で行い、春・夏・冬休みには東は千葉、西は兵庫までの遠征を行った。個の育成のため、よりよいレーニングを実施し、特長のある選手を育てることを目標とした。

結果、浦和レッズを昨年引退した山田暢久氏を始め名波浩氏など、多くの優秀な選手を輩出してきた。クラブができて10年ほどは、中体連とクラブがともに中西部トレセンとして活動を行い、クラブからもアビレックス新潟の成岡翔選手（ＥＷＳ・ＦＣ出身）や大井健太郎選手（ＡＣＭブルックスＦＣ出身）も輩出した。もちろん、日本代表キャプテン長谷部誠選手も中西部トレセンのＯＢである。

こうした歴史の中、８年ほど前からクラブの練習時間との関係で、中体連とクラブは別々にトレセン活動を行うことになった。中体連は中西部アカデミーとして週１回のトレーニングを行い、単独クラブ・クラブ選抜とは藤枝市長杯や練習試合で交流した。現在はクラブを中心に３種県トレセンに中西部地域からも参加はしているが、県選抜として選考される選手はほんのわずかしかいない。選手の育成、強化には指導者がさらに連携し、学校体育とクラブが切磋琢磨していくトレセン活動を本年度中に技術委員会で検討していく。２種の指導者のご協力もいただき、レスタイム・レスペースでも、よりクリエイティブなプレーができる選手を育成したいと念願する。新しい中西部トレセンのシステムを見いだしていきたい。

第38回 全日本少年サッカー大会 静岡県大会

藤枝東ＦＣJr. 第３位

全日本少年サッカー大会静岡県大会が６月14日、15日に藤枝市民グラウンドなどで行われ、藤枝東ＦＣジュニアが３位となった。

初戦で浜松蒲に競り勝った藤枝東ＦＣは、２回戦で袋井西ＦＣに６得点して快勝。準決勝に進み、Ｈｏｎｄａ ＦＣと対戦した。中盤でボールを奪われ押し込まれるも、体を張って守りドリブルで打開を図る。だが、ともに得点なく迎えた後半７分と12分に失点し、終盤に幾度かゴールを攻め寄るもゴールならず、０対２で敗れた。なお、藤枝東ＦＣは努力賞を受賞した。

（試合結果を２面に掲載）

強豪校との対戦が続くことが予想されるが、初優勝を目指して頑張ってほしい。

（東海総体の結果は２面に掲載）

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 8
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

１次ラウンド グループ分け

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
大分トリニータ	S　S　S	ヴィッセル神戸伊丹	JFAアカデミー福島
F　C　多　摩	サンフレッチェ広島	ジェフユナイテッド千葉	コンサドーレ札幌
名古屋グランパス	ブレイズ熊本	サ　ガ　ン　鳥　栖	F C 東 京 深 川
横浜ポラリスFC	湘南ベルマーレ平塚	F C レ グ ノ ウ ァ	カティオーラFC
Eグループ	**Fグループ**	**Gグループ**	**Hグループ**
清水エスパルス	Forza'02	ヴィッセル神戸	ベガルタ仙台
京　都　サ　ン　ガ	SC岐阜VAMOS	愛　媛　F　C	横浜F･マリノス
S. T. F　C	ガンバ大阪堺	柏　レ　イ　ソ　ル	AC長野パルセイロ
山　形　F　C	サガン鳥栖唐津	アビスパ福岡	宇　治　F　C
Iグループ	**Jグループ**	**Kグループ**	**Lグループ**
栃　木　S　C	ガ　ン　バ　大　阪	浦和レッドダイヤモンズ	長　岡　J　Y　F　C
藤　枝　東　F　C	鹿島アントラーズ	ジュビロ磐田	三菱養和SC巣鴨
シーガル広島	カターレ富山	ヘミニス金沢FC	ジュビロSS磐田
岩　田　F　C	サンフレッチェぴんご	セレッソ大阪	横　浜　F　C

adidas CUP 2014 第29回 日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

藤枝東ＦＣが中西部勢初の全国に挑む

8月15日から24日まで北海道帯広市などで開催される日本クラブユース選手権（U−15）大会に、藤枝東FCが初出場する。中西部勢としても初の全国への挑戦となる。

全国9地域の代表48チームが参加して、1次ラウンドのリーグ戦と決勝トーナメントで争われる。1次ラウンドは4チームずつの12グループに分かれて、8月15日から17日までの3日間で実施される。そして各組の上位2チームと3位の中から成績上位8チームの計32チームが、19日に始まる決勝トーナメントに進む。藤枝東FCは1次ラウンドで栃木SC、シーガル広島、岩田FC（大阪府）の3チームと対戦する。まずは決勝トーナメント進出を目指して、そして優勝を目指して頑張ってほしい。

１次ラウンドＩグループの組み合わせ

期日	時間	対　戦	会場
8/15(金)	12:20	栃木ＳＣ－岩田ＦＣ	グC
	12:20	**藤枝東ＦＣ**－シーガル広島	グD
8/16(土)	12:20	栃木ＳＣ－シーガル広島	帯A
	12:20	**藤枝東ＦＣ**－岩田ＦＣ	帯B
8/17(日)	12:20	栃木ＳＣ－**藤枝東ＦＣ**	グA
	12:20	シーガル広島－岩田ＦＣ	グB

＜会場＞グA･B･C･D：帯広市グリーンパークA･B･C･D
帯A･B：帯広の森球技場A･B

決勝トーナメント試合日程	
8/19(火)	１回戦（ラウンド32）
8/20(水)	２回戦（ラウンド16）
8/22(金)	準々決勝
8/23(土)	準　決　勝
8/24(日)	決　　勝

第43回 全国自治体職員サッカー選手権大会

藤枝市役所 2年ぶり28回目の優勝

藤枝市役所が出場した全国自治体職員サッカー選手権大会は、7月19日から23日まで石川県で行われた。32チームのトーナメント戦で争われ、藤枝市役所は準々決勝までの3試合を無失点の快勝で勝ち進んだ。

さいたま市役所との準決勝は、開始3分に先制点を奪われるが、17分に鈴木侃太のゴールで追いつく。優位に進めた後半は、13分に中村龍一郎がロングシュートを、15分に林内秀樹がループシュートを決めて2点のリードとすると、36分に1点を返されるが、反撃を抑えて決勝に駒を進めた。

昨年と同じ東京消防庁が相手となった決勝は、前半から優位に進めたが、31分に一瞬のすきを突かれ先制を許す。だが後半5分にこぼれ球を高橋祐樹が押し込み追いつくと、17分にも高橋祐樹が決めて逆転。35分には中村のミドルシュートでリードを広げ、終盤の39分に1点差に詰め寄られるがそのまま逃げ切り、2年ぶり28回目の優勝を飾った。

〈1回戦〉
藤枝市役所　6－0　仙南地域広域行政事務組合

〈2回戦〉
藤枝市役所　3－0　水戸市役所

〈準々決勝〉
藤枝市役所　7－0　練馬区役所

島田第二中学校 第3位

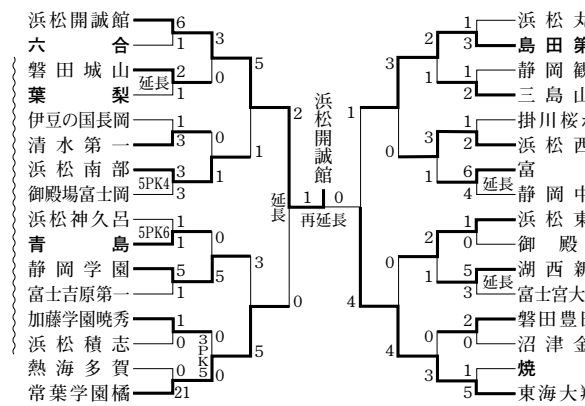
静岡県中学校総合体育大会サッカー競技が、7月26日から30日まで藤枝総合運動公園を主会場に行われた。5校が出場した中西部勢では、島田第二が準決勝に勝ち進み、東海大翔洋に敗れはしたが、初の3位入賞を果たした。

島田第二の勝因を「試合をやる毎に自分たちで考え、修正し声を掛け合ってできたこと」、そして「走りを含め毎日休みなく練習してきた積み重ね」と横田川文浩監督は振り返った。ベースにあったというフィジカルや走力の高さを生かすことのできた大会だったようだ。

〈準決勝〉
藤枝市役所　3－2　さいたま市役所

〈決勝〉
藤枝市役所　3－2　東京消防庁

第67回 静岡県中学校総合体育大会 サッカー競技



静岡県中学校総合体育大会 試合結果

新たな挑戦

藤枝市役所サッカー部
主将
鈴木 大揮

～ 第43回全国自治体職員サッカー選手権を終えて ～

7月19日(土)～23日(水)に石川県七尾市で開催された第43回全国自治体職員サッカー選手権において、2年ぶり28回目の全国優勝を掴み取ることができました。中西部サッカー協会をはじめ多くの皆さんのご支援をいただき優勝できたことを心より感謝し、この場をお借りしてお礼申し上げます。

昨年の大会では決勝戦で東京消防庁に敗れ準優勝という大変悔しい結果に終わったこともあり、今大会に臨むチームの士気は非常に高いものがありました。また、優勝という結果を勝ち取ることが出来た大きな要因の一つとして、チームの一体感が挙げられると思います。今大会は5連戦という日程でしたが、試合ごとに出られない選手が積極的にチームのために行動してくれました。誰もが試合に出たいという悔しい気持ちを持ちながらもそれを抑えてチームのために行動したことが、チームに一体感を生んだと感じています。

ここ数年の東海社会人リーグ等では苦戦が続いていますが、今大会で得たチームとしての一体感を大事にし、チームとしても更に成熟していきながら今後の試合に臨んでいきたいと思います。

攻め続けることで、2回戦から3戦連続して後半アディショナルタイムに得点を奪った。2回戦では三島山田をシュート1本に押え、後半1分にその1本で先制を許すが、PKで追いつくと、アディショナルタイムに池谷里駆斗のヘディングシュートで決勝点を奪った。準々決勝でも浜松西部を相手にボールを支配し、上田将人がFKを直接決めて3点目を奪い締めくくった。そして準決勝の東海大翔洋戦でも、守勢に回るがカウンターを狙い、4失点しても最後まであきらめず走り続け、小林壱伎のCKからのこぼれ球を上田が押し込み一矢報いた。

（2面に関連記事）

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 9

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第21回全国クラブチームサッカー選手権大会静岡県大会
パイシャオンFCが2連覇

社会人の全国クラブチームサッカー選手権静岡県大会が、7月13日から8月17日まで行われた。準決勝に中西部勢3チームが勝ち進み、S.K.YOSHIDAが前半に稲森智也が決めた1点で、NO FEAR K.YOSHIDAもFK雑草クラブとの中西部対決を制し、またパイシャオンFCが長田F.Cに4点を奪って快勝した。

中西部同士の対戦となった決勝は、パイシャオンFCが開始早々に藁科裕貴のゴールで先制すると、砂川凌太郎が追加点を奪う。S.K.YOSHIDAも FK雑草クラブとの中西部対決点差に詰め寄る。後半もパイシャオンFCが藁科、砂川、前島広栄の得点で突き放し、S.K.YOSHIDAは終盤に八木がPKを決めて1点を返すが反撃もここまで。パイシャオンFCが2連覇して、それと同時に東海大会（9月14日、三重県）の出場権を獲得した。

S.K.YOSHIDA 準優勝

日本スポーツマスターズ2014埼玉大会 サッカー競技
中西部選抜が全国制覇目指す

35歳以上の選手が対象となる日本スポーツマスターズのサッカー競技が、9月20日から23日まで埼玉県で行われ、東海大会を勝ち上がった静岡中西部選抜が出場する。全国9地域の代表14チームに開催地1チーム、そして日韓交流として韓国のチームを招いて、16チームが参加。1次ラウンドのリーグ戦が4組で争われ、各組の1位4チームが決勝ラウンドのトーナメント戦に進む。一昨年のプレ大会で全国優勝した中西部選抜が2年ぶりの優勝を目指す。

1次ラウンド ブロック分け

グループA	韓国
	アンティークス札幌
	セレソン長野
	埼玉選抜OVER35
グループB	コンパーレ熊本
	秋田35FC
	愛知県選抜マスターズO-35
	紀北蹴球団
グループC	広島サーティーズ
	鹿児島県O-35選抜
	遠野SC35
	群馬県選抜O-35
グループD	DREAM35
	静岡中西部選抜
	高知県O-35選抜
	オール千葉35

決勝ラウンド組み合わせ

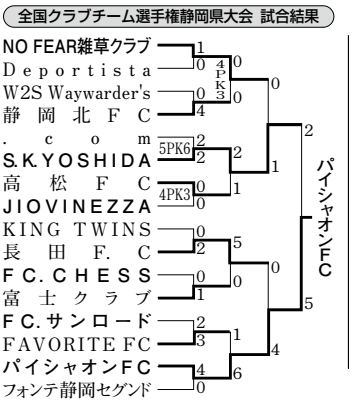
9/23(火)
A1位
B1位　第2 10:00
C1位
D1位　第3 10:00
メイン 13:00
<会場>
埼玉スタジアム2002
第2・第3：第2・第3グラウンド
メイン：メイングラウンド

1次ラウンド 静岡中西部選抜の試合日程

試合日	時間	対戦相手	会場
9/20(土)	9:30	DREAM35	第4
9/21(日)	11:30	オール千葉35	秋葉
9/22(月)	11:30	高知県O-35選抜	秋葉

<会場>
第4：埼玉スタジアム2002第4グラウンド
秋葉：秋葉の森総合公園サッカー場

全国クラブチーム選手権静岡県大会 試合結果



2014SBSカップ国際ユースサッカー
静岡ユースで中西部3選手出場

SBSカップ国際ユースサッカーが8月14日、15日、17日に藤枝総合運動公園サッカー場などで開催された。

GK 長沢 祐弥

FW 小谷 春日

FW 大塚 聖磨

コロンビア、韓国、日本のそれぞれU－19代表と、1学年若い高校3年生主体で構成された静岡ユースがリーグ戦で争った。

長沢祐弥、小谷春日（ともに藤枝東高校3年）、大塚聖磨藤枝明誠高校3年の中西部3選手が出場した静岡ユースは、初戦で韓国に3対2で競り勝つと、続く日本代表には後半に追いつき1対1とするもPK戦で惜敗。最終戦ではコロンビアに前半の1失点で敗れたが、勝点4で2位となった。

試合結果

	コロンビア	韓国	日本	静岡	勝点	順位
U-19コロンビア代表		○2－1	○1－0	○1－0	9	1
U-19韓国代表	●1－2		△2－2 5PK4	●2－3	2	4
U-19日本代表	●0－1	▲2－2 4PK5		△1－1 4PK2	3	3
静岡ユース	●0－1	○3－2	▲1－1 2PK4		4	2

※勝点：勝ち＝3、PK勝ち＝2、PK負け＝1、負け＝0

たっけんカップ
第9回静岡県U-12トレセン8人制サッカー大会
藤枝トレセン 第３位

各地区トレセン18チームで争われる、たっけんカップ静岡県U－12トレセン8人制サッカー大会は9月6日、7日に清水蛇塚スポーツグラウンドで行われた。

焼津、榛原、藤枝、島田の4地区トレセンが出場した中西部勢では、藤枝が1次リーグを2戦全勝で1位通過して2次リーグに進んだ。2次リーグは初戦で優勝した静岡葵に、3ピリオド制の第2ピリオドに1点を奪われ、藤枝はシュートがポストに弾かれるなどで得点できず惜敗。しかし、2戦目の三島には、第1ピリオドに村松寛大のCKのこぼれ球を金子涼太朗が押し込み、第2ピリオドは山田和輝が決め、第3ピリオドには清水巧陽がゴール前に送ったボールを鈴木俊哉が蹴り込み、3点を奪い、失点を1に抑えて快勝。リーグ2位となり、もう1ブロックの2位チームとともに総合3位となった。

2次リーグ試合結果

Iリーグ	掛川	沼津	浜松東	勝点	得失差	順位
掛川		○4－0	△1－1	4	4	1
沼津	●0－4		●0－2	0	-6	3
浜松東	△1－1	○2－0		4	2	2

IIリーグ	静岡葵	藤枝	三島	勝点	得失差	順位
静岡葵		○1－0	○2－0	6	3	1
藤枝	**●0－1**		**○3－1**	**3**	**1**	**2**
三島	●0－2	●1－3		0	-4	3

1次リーグ最終順位

	1位	2位	3位
A	掛川	富士	**焼津**
B	沼津	静岡駿河	袋井
C	浜松東	**榛原**	伊豆
D	静岡葵	浜松西	富士宮
E	**藤枝**	清水	駿東
F	三島	**島田**	磐田

GSAジュニアユース（U-14）サッカーフェスティバル
中西部登録2選手が出場

静岡県選抜レッドドラゴン　VS　ベトナムクアンニンU-14

静岡ゴールデンサッカーアカデミーの一環として、ジュニアユース（U－14）サッカーフェスティバルが9月6日、7日にエコパスタジアムなどで行われた。国際交流を目的としてベトナム・クアンニン省のU－14チームを招き、JFAアカデミー福島、清水エスパルスとジュビロ磐田の選抜チーム（静岡県選抜S&Jブルー）、静岡県トレセンから選出された静岡県選抜レッドドラゴンの4チームが参加して、総当たり戦を実施した。

静岡県選抜レッドドラゴンでは、福山亜門（藤枝明誠SC）と平出海（藤枝東FC）のともにDFの中西部登録2選手が参加した。

試合結果

静岡県選抜レッドドラゴン	8－0	ベトナムクアンニンU－14
JFAアカデミー福島	2－2	静岡県選抜S&Jブルー
JFAアカデミー福島	10－2	ベトナムクアンニンU－14
静岡県選抜S&Jブルー	1－1	静岡県選抜レッドドラゴン
静岡県選抜S&Jブルー	7－0	ベトナムクアンニンU－14
JFAアカデミー福島	4－1	静岡県選抜レッドドラゴン

新たな挑戦

静岡県U-12メキシコ実地研修
中西部支部指導研修生
榛原技術委員長
大島　津幸

～ GSA（ゴールデンサッカーアカデミー）2014 メキシコ実地研修 ～

静岡県では、GSAミッション「静岡産の金の卵を育てる」活動を行い、県内の選手、指導者の資質向上を目指しています。

2012年、2013年と、GSAテクニカル・ディレクターのヘスス・ラミレス氏の巡回指導により多くの選手、指導者が、育成指導方法について学びました。2014年度については3年目の総括として7月23日～8月2日の11日間、現地メキシコでの実地研修（交流試合、トレーニング、現地スタッフとの指導研修、クラブ施設訪問、プロリーグ観戦）を行いました。

今回、私は支部実地研修生として中西部4種指導者の代表でこの遠征に参加し、U－12県選抜選手18名・県スタッフ16名とともに実地研修を行ってきました。交流試合はメキシコクラブの同年代と4試合行い、静岡選手の技術・テクニック、状況判断スキルはメキシコ選手と比べても高く、3勝1敗の成績で十分に戦える状況でしたが、フィジカル面、体の使い方、体の向き、ステップ等は、メキシコの選手育成の中で重要視されており、試合の中で差を感じた部分でもありました。過去2年ラミレス氏の指導実践にも、必ず動きのあるトレーニング、基本的動き（ステップ）の重要性、また試合状況を想定したトレーニングの中で選手が何を考え、答えを出していくか？といった事が含まれており、こういったトレーニングの継続型指導が現在のメキシコ選手育成に大きく躍進していると思いました。

GSAは今後の計画として3種世代育成へと展開していきます。活動を経験した中西部の金の卵達がどのようにかえり、成長をしていくかを見守り続け、選手育成へ取り組んでいきたいと思います。

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 10

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

パイシャオンＦＣが中西部勢初の全国に挑む

第21回 全国クラブチームサッカー選手権大会

11月1日から東京都で開催される全国クラブチームサッカー選手権大会に、東海地域大会を勝ち上がったパイシャオンＦＣが出場する。中西部勢で初の全国への挑戦となる。

16チームが参加してトーナメント戦で争われ、11月4日に決勝が行われる。優勝を目指して頑張ってほしい。

パイシャオンＦＣ　VS　古河電工

東海地域大会

東海地域大会は9月14日に三重県で行われた。全国切符が2枚のため勝てば出場権を得る試合で、パイシャオンＦＣは三重県の古河電工と対戦。押し気味に進めるが、相手ＧＫの好守などでゴールを奪えないまま折り返すと、後半28分に攻め上がったところをカウンターで決められ先行を許す。だが3分後に砂川凌太郎がドリブルで粘ってＧＫもかわしてシュート。これで追いつくと、アディショナルタイムに砂川のクロスを前島広栄が頭で押し込み、ゴールと同時に終了の笛が鳴る劇的な逆転勝利で全国行きを決めた。

試合結果
パイシャオンＦＣ　２―１　古河電工サッカー部

全国クラブチームサッカー選手権大会 組み合わせ

<会場>陸：駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
二：駒沢オリンピック公園総合運動場第二球技場
補：駒沢オリンピック公園総合運動場補助競技場
西：味の素フィールド西が丘

第17回アジア競技大会（2014/仁川）

北原佳奈選手が出場のなでしこジャパン準優勝

ＤＦ　北原 佳奈
©ALBIREX NIIGATA

仁川アジア競技大会のサッカー競技が9月14日から10月1日まで行われ、なでしこジャパン（日本女子代表）が準優勝した。決勝で朝鮮民主主義人民共和国に敗れはしたが、グループステージ3試合と準々決勝、準決勝の5試合を無失点で勝ち上がった。その日本女子代表に藤枝市出身の北原佳奈選手（アルビレックス新潟レディース）が選出され、センターバックとして4試合に出場。体を張った守りでピンチを防ぐなどして、日本の準優勝に貢献した。

日本の試合結果
（グループステージ）
○０―０　中国
○12―０　ヨルダン
○３―０　チャイニーズタイペイ
（準々決勝）
○９―０　香港
（準決勝）
○３―０　ベトナム
（決勝）
●１―３　朝鮮民主主義人民共和国

第37回 東海女子サッカー選手権大会

第36回皇后杯
全日本女子サッカー選手権大会
東海地区予選

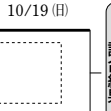
藤枝順心高校８回目の全国切符獲得

皇后杯の予選を兼ねる東海女子サッカー選手権大会は、10月4日、5日に1回戦と準決勝が藤枝総合運動公園陸上競技場で行われ、藤枝順心高校が8回目の全国切符を獲得した。

1回戦のＦＣ岐阜ベルタに4得点で快勝した藤枝順心高校は、準決勝で静岡産業大学ボニータと対戦した。ボールを支配し前半15分にＧＫが弾いたこぼれ球を福田ゆいが押し込み先制点を奪う。26分には中野ひかりが決めて2点目をゲット。後半にも10分に福田ゆい、33分には横澤真衣のゴールで2点を加え、またも快勝で、決勝進出と同時に全国大会出場を決めた。

なお、10月13日に行われる予定だった決勝と3位決定戦は、台風接近のため19日に延期して行われることになった。

試合結果



※会場、時間は未定

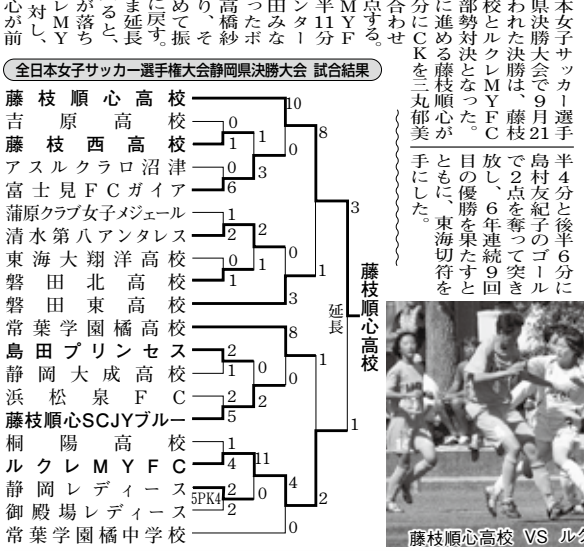
第36回 全日本女子サッカー選手権大会 静岡県決勝大会

藤枝順心高校 中西部勢決勝対決制し9回目の優勝

全日本女子サッカー選手権静岡県決勝大会で9月21日に行われた決勝は、藤枝順心高校とルクレＭＹＦＣの中西部勢対決となった。優位に進める藤枝順心が前半14分にＣＫを三丸郁美半4分と後半6分に島村友紀子のゴールで2点を奪って突き放し、6年連続9回目の優勝を果たすとともに、東海切符を手にした。

藤枝順心高校　VS　ルクレＭＹＦＣ

全日本女子サッカー選手権大会静岡県決勝大会 試合結果



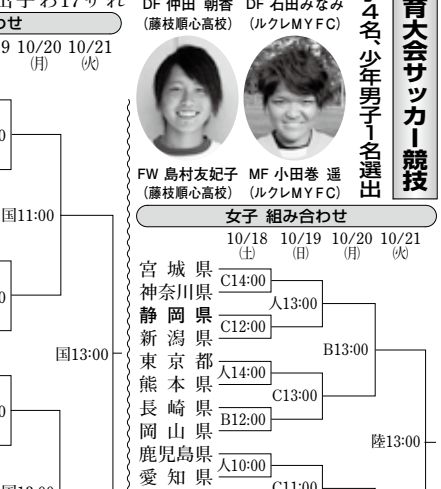
第69回 国民体育大会サッカー競技

中西部選手 女子4名、少年男子1名選出

DF 仲田 朝香（藤枝順心高校）　DF 石田みなみ（ルクレＭＹＦＣ）
FW 島村友紀子（藤枝順心高校）　MF 小田巻 遥（ルクレＭＹＦＣ）

長崎県で開催される国民体育大会のサッカー競技は10月17日から21日まで行われる。静岡県は女子と少年男子の部に出場。女子の静岡県選抜には中西部登録の東海予選にも出場した4選手が選出され、少年男子には藤枝東高校1年のＧＫ細川脩造選手が新たに選ばれた。女子は初の、少年男子は3年ぶりの優勝を目指して頑張ってほしい。

少年男子 組み合わせ



<会場>長崎県
国：雲仙市国見総合運動公園多目的芝生広場
百：長崎県立百花台公園サッカー場（人工芝）
愛：雲仙市愛野運動公園（多目的芝生広場）

女子 組み合わせ

<会場>長崎県
陸：島原市営陸上競技場
B・C：島原市営平成町多目的広場B・C
人：島原市営平成町人工芝グラウンド

新たな挑戦

中西部ヤングサッカーニュース
編集責任者
滝本　義三郎

～ サッカーのまち藤枝シンポジウムに参加して ～

9月28日(3)、藤枝市主催の「歴史・誇り・夢あふれる、サッカーのまち未来予想図～サッカーのまち藤枝シンポジウム～」が藤枝市民会館で開催された。

「夢があるから強くなる」の演題で小倉純二氏（日本サッカー協会名誉会長）の基調講演、齊藤俊秀氏（前藤枝ＭＹＦＣ監督）、福西崇史氏（ＮＨＫ解説者）、澤木久雄氏（ＳＢＳアナウンサー）、そして主催者を代表して北村正平市長らが、それぞれ専門の立場でパネルデスカッションが行われた。

広い会場に集まったのは130人前後で、サッカー指導者、サッカーを志す子供達や保護者などの参加が少なかったことは誠に残念であった。

さて、藤枝ドリームプラン推進室では、2009年から5年計画でサッカーを核とした個性あるまちづくりの施策を推進しており、本会のシンポジウムでは、「サッカーのまち藤枝ドリームプラン2014」の概要版を掲げて、2020年東京オリンピック、パラリンピック開催の5年間に世界で活躍できる選手の人材育成や環境整備を支援していくと宣言している。

藤枝サッカー90年の歴史の中で先人達の情熱と努力により、数々の栄光を成し遂げ多くの日本代表選手が育った土壌がある。特に記憶に新しい中で、Ｗ杯2014ブラジル大会日本代表主将として活躍した長谷部誠選手、仁川アジア大会に出場したなでしこジャパン北原佳奈選手、そして、Ｊリーグ浦和レッズに20年在籍し500試合出場を達成し本年度引退した山田暢久氏（元日本代表）は藤枝出身選手であり、全国にも誇れる人材である。

また、藤枝はサッカー競技に相応しい環境、施設面が充実している。年間を通じて、数々の全国大会の誘致に適したサッカー場や人工芝グランドの新設など環境が整っていることは喜ばしい限りである。

藤枝市がスポーツの力、特にサッカー文化の発信で個性あるまちづくりを目指すとともに、一人でも多くの市民が新たなアイデアとチャレンジ精神を発揮し、5年後、10年後、30年後の未来に繋がる文化の創造に、シンポジウムに参加して感じた。

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 11
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第36回 皇后杯 全日本女子サッカー選手権大会
藤枝で３回戦４試合を実施

11月29日に開幕する皇后杯全日本女子サッカー選手権大会は、36チームによるトーナメント戦で争われ、３回戦８試合のうち４試合が藤枝総合運動公園サッカー場で開催される。12月13日と14日に２試合ずつが行われる運営を協力して成功させよう。

この３回戦には、なでしこリーグのチームが登場し、藤枝市出身で仁川アジア大会に日本女子代表として出場した北原佳奈選手が所属するアルビレックス新潟レディースや、リーグで優勝争いをしている岡山湯郷Ｂｅｌｌなど４チームの試合が実施さる。日本のトップレベルの試合を観戦できる良い機会なので、是非、会場に足を運ぼう。入場は無料。

藤枝順心高校 ８回目の出場

東海大会決勝で清水第八プレアデスを破り第１代表となった藤枝順心高校は、８回目の出場となる。１回戦で関西２位代表で関西学生女子リーグ１部秋季優勝の姫路獨協大学と対戦する。この試合とさらに２回戦を勝ち上がれば、なでしこリーグの上位リーグで戦っているジェフユナイテッド市原・千葉レディースとの地元藤枝での試合が待っている。全日本高校女子選手権に向けて、格上のチームと真剣勝負ができるこの大会。上位進出を目指して頑張ってほしい。

東海大会 決勝 試合結果
10月19日(日) 焼津いちまるグラウンド
藤枝順心高校 2－1 清水第八プレアデス

皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 組み合わせ

浦和レッズレディース（なでしこ）
ノジマステラ神奈川相模原（関東1）
岡山県作陽高校（中国2）
鳴門渦潮高校（四国2）
聖和学園高校（東北3）
静岡産業大学磐田ボニータ（東海3）
ジェフユナイテッド千葉レディースU-18（関東5）
伊賀フットボールクラブくノ一（なでしこ）
ＡＳエルフェン埼玉（なでしこ）
ＩＮＡＣ神戸レオネッサ（なでしこ）
浦和レッズレディースユース（関東4）
ＡＳハリマアルビオン（関西3）
清水第八プレアデス（東海2）
スフィーダ世田谷ＦＣ（関東3）
新潟医療福祉大学（北信越2）
藤枝順心高校（東海1）
姫路獨協大学（関西2）
ジェフユナイテッド千葉レディース（なでしこ）

12/13三②
11/29福①
12/6ユ②
11/29鈴①
12/21丸①
11/29鈴②
12/6広②
12/14藤①
12/28西②
12/13三①
12/7ユ①
11/30三②
12/21丸②
11/29福②
12/7広①
11/30三①
12/14藤②

1/1 味 14:15

＜時間＞
①11：00
②14：00

12/4三②
11/29三②
12/6広①
11/30鈴②
12/21ユ①
11/30福①
12/7ユ②
12/13藤①
12/28西①
12/14三①
12/7広②
11/30鈴①
12/21ユ②
11/29三①
12/6ユ①
11/30福②
12/13藤②

日テレ・ベレーザ（なでしこ）
日ノ本学園高校（関西5）
愛媛ＦＣレディース（四国1）
ＪＦＡアカデミー福島（東北2）
福岡Ｊ・アンクラス（九州1）
アルビレックス新潟レディースU-18（北信越3）
常盤木学園高校（東北1）
スペランツァFC大阪高槻（関西1）
アルビレックス新潟レディース（なでしこ）
ベガルタ仙台レディース（なでしこ）
FC吉備国際大学Charme（なでしこ）
アンジュヴィオレ広島（中国1）
ノルディーア北海道（北海道）
大商学園高校（関西4）
神村学園高等部（九州2）
JAPANサッカーカレッジレディース（北信越1）
日本体育大学（関東2）
岡山湯郷Ｂｅｌｌｅ（なでしこ）

＜会場＞味：味の素スタジアム　西：味の素フィールド西が丘　丸：香川県立丸亀競技場　ユ：ユアテックスタジアム仙台
三：三木総合防災公園陸上競技場　藤：藤枝総合運動公園サッカー場　広：コカ・コーラウエスト広島スタジアム
鈴：三重交通Ｇスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場メイングラウンド　福：テクノポート福井スタジアム

第93回 全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会
藤枝東 決勝進出

全国高校サッカー選手権大会静岡県大会は決勝トーナメントが11月２日に始まった。特別シード４校と第２次リーグを勝ち上がった12校の計16校で争われ、藤枝東が決勝進出を決めた。

初戦で常葉学園橘に後半９分の得点で競り勝った藤枝東は、準々決勝で磐田東と対戦。６分に川本紘平がゴール前に飛び込み先制すると、１分後に小谷春日がPKを決め、アディショナルタイムには大石元気がFKを直接決めて、前半の３得点で快勝した。浜松開誠館との対戦となった準決勝は、サイドの攻防で、ボールを奪うと速攻を仕掛ける。そして18分に得たFKで、大場淳矢が蹴ったボールを藤原賢吏がワンタッチで前に送ると、それを小谷春日が蹴り込み先取点を奪った。後半に入るとセカンドボールを拾われ守勢となるが、体を張って、１点のリードを守り切った。

藤枝東が２連覇をかけて戦う決勝は、11月15日にエコパスタジアムで行われる。

藤枝東 VS 浜松開誠館

スルガカップ2014 静岡県ユース（U-15）サッカー選手権大会
第26回高円宮杯 全日本ユース（U-15）サッカー選手権大会 静岡県予選
藤枝東ＦＣ 第３位

JFAアカデミー福島
アスルクラロ沼津ST
F.C.ヴァーデュア三島
浜松開誠館中学校
東海大翔洋中学校
藤枝東ＦＣ
清水エスパルスSS静岡
浜名ＪＹクラブ
藤枝明誠ＳＣ
聖隷ＪＹＳＣ
ジュビロSS浜松
SALFUS oRs
常葉学園橘中学校
清水エスパルスSS藤枝
ジュビロSS掛川
Ｈｏｎｄａ ＦＣ

1－0　4－1　2－1　1－0　7PK6　2－1　0－0　2－1　4PK2　2－2　0－0　1－1　3－1　延長4－2　2－1　0－3　4－1　0－4

スルガカップ静岡県ユース（U-15）サッカー選手権大会 試合結果

藤枝東ＦＣ VS ＪＦＡアカデミー福島

スルガカップ静岡県ユース（U－15）サッカー選手権大会が10月４日、18日、19日、25日に行われた。U－15県リーグのTOPリーグ12チームと１部リーグの上位４チームの計16チームがトーナメント戦で争った。

出場した藤枝東ＦＣ、藤枝明誠ＳＣ、清水エスパルスSS藤枝の中西部勢３チームはいずれも１回戦を突破。さらに準決勝に勝ち進んだ藤枝東ＦＣはＪＦＡアカデミー福島と対戦し、前半に２点を奪われ、後半に決定機を作り出すも決め切れず惜敗して、３位となった。

最後の高円宮杯県予選

高円宮杯の県予選を兼ねるこの大会は、U－15リーグの実施に伴い、２０１２年度からその順位により出場チームを決定し、チーム数も徐々に減少させてきた。そして、この県大会は今回を最後として、来年度からはU－15リーグの上位チームが東海大会へ出場することになる。

藤枝明誠 第３位

藤枝明誠は１回戦で飛龍を前半36分と後半32分のゴールで下して、準々決勝に進み、清水桜が丘と対戦した。積極的な動きでパスをつなぎ、相手ゴールに攻め込む。そして後半９分に宮木敬理のクロスを大石宏海が決めて先制点を奪う。だが19分に同点弾を許し、試合は延長戦でも決着がつかずPK戦へ。ここで好守を見せていた先発GKの高田優に替わり、PK戦に備えて終盤に投入された山本諒一が、一人ずつが外して迎えた５人目を止め、激闘を制して準決勝に勝ち進んだ。

藤枝明誠 VS 静岡学園

決勝トーナメント組み合わせ及び試合結果

藤枝東
常葉学園橘　1－0
富士東　延長1－2
磐田東
浜松南　0－1
聖隷クリストファー
富士市立　0－3
浜松開誠館
清水桜が丘　3－1
東海大翔洋　延長1－2
藤枝明誠
飛龍　2－0
科学技術　0－2
静岡北　0－0
日大三島　0－4
静岡学園

3－0　0－1　1－2　3PK4　1－0　0－0　0－4　4PK5　1－0　0－1　0－1

11/15(土) エコパスタジアム 13:30

一進一退の攻防から、31分に清託巳が蹴った左CKを宮木が頭で合わせて先制する。だが前半終了間際の40分にシュートをGK高田が一旦は弾くが、こぼれたところを押し込まれて追いつかれる。延長戦にもつれ込むと、互いに好機を決め切れず、またもPK戦に突入。３人目が止められ、決勝目前で涙をのみ３位となった。

第21回 全国クラブチームサッカー選手権大会
パイシャオンFC 初戦で敗れる

日本クラブユースサッカー選手権（U－15）大会は地区予選を勝ち上がった48チームで８月15日～24日に北海道帯広市で開催された。藤枝東ＦＣジュニアユースは東海第３代表で初の全国大会出場権を得た。中西部クラブチームにおいても初めての出場ということで、地域の皆様に育てていただいた感謝の気持ちを持って大会に挑んだ。

試合結果は予選リーグ勝ち点３、グループ３位で決勝トーナメント進出、１回戦で優勝候補のサンフレッチェ広島と対戦し、前半同点に追いつくも後半２失点で大会を終えた。今大会での４試合をどのような戦術で戦ったかを述べてみます。

システムは試合のながれによって４・３・３と４・４・２を併用した。守備の戦術ではブロックをつくり積極的にボールを奪いに行く。チャレンジ＆カバー。攻め込まれても落ち着いてリトリートして速攻につなげる。組み立ては攻撃の優先順位を意識したポゼション、つまり積極的にゴールを奪うためのポゼションであることを理解させた。そしてポゼションでは味方を見るのは勿論相手も見ることもパスミスを減らす要素であることも指示した。アタッキングサードでは動きながらボールを受ける、スペースをつくりスピーディーな攻撃からのドリブルシュート・ワンタッチコントロールからのシュート・セントーリングシュート・ミドルシュートへとつなげる。リスタートは重要な得点チャンスである。そしてピッチが深い天然芝のため重要視したのがパススピードと正確なパス。

以上の戦術はトレーニングしてきたことの再確認でもあった。その結果、失敗もあったが試合の流れの中で選手は個々で判断し、また選手同士でコーチングしながら修正し戦うこともできた、そしてU－15の最高峰の大会を経験できたことが何よりの成長であった。

最後にこのチームを指導して、個の特徴を生かすことが大切であり、そしてサッカーの楽しさを追求しリスペクトの心を養う年代であることを再確認した。

新たな挑戦
～ adidas CUP 2014 第29回日本クラブユースサッカー選手（U-15）大会を戦って ～

中西部クラブ連盟（U-15）技術委員長
藤枝東ＦＣジュニアユース監督
瀧　利明

全国クラブチームサッカー選手権大会が11月１日～４日に東京都で開催された。東海代表で出場したパイシャオンFCは、１回戦で準優勝した関大クラブ２０１０と対戦し、後半開始早々に先制を許すと、17分にはCKから２点目を奪われ、初の全国で１勝はならなかった。

試合結果
関大クラブ２０１０ 2－0 パイシャオンFC

中西部
ヤングサッカーニュース
2014 12
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第23回 全日本高校女子サッカー選手権大会

藤枝順心 11大会連続出場 2回目の優勝を目指す

2015年1月3日に開幕する全日本高校女子サッカー選手権大会に、藤枝順心が11大会連続で出場する。32校によるトーナメント戦で争われるこの大会は、今回から兵庫県で開催され、決勝は1月11日にノエビアスタジアム神戸で行われる。

前回大会で惜しくも準優勝に終わった藤枝順心には、昨年の試合を経験した選手が多く在籍する。その一人で、世界一になったU－17日本女子代表として大会MVPになる活躍をみせ、11月5日にAFC年間最優秀ユースプレーヤー（女子）を受賞した杉田妃和主将を中心に、力を出し切って、8大会ぶり2回目の全国制覇を目指して頑張ってほしい。

東海地区予選
東海4年連続優勝

11月15日、16日に三重県で行われた東海地域大会に出場した藤枝順心は、初戦となる準決勝で三重を前半の4得点で下して決勝に進出。それと同時に、3校に与えられる全国大会の出場権を獲得した。

常葉学園橘との同県対決となった決勝は、前半に三丸郁美のゴールで先制するも追いつかれ、1対1で折り返す。だが自力で勝る藤枝順心が後半、バーに当たったシュートの跳ね返りを島村友妃子が蹴り込み勝ち越すと、これが決勝点となり、4年連続の優勝を果たした。

全日本高校女子選手権東海地区予選
試合結果

第93回 全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会
藤枝東 準優勝

11月15日、エコパスタジアムで行われた決勝戦で、静岡学園と対戦した。前半は相手の攻勢に押され、16分に右サイドからの折り返しを蹴り込まれて、今大会初失点となる先制弾を決められる。藤枝東もカウンターを狙うが跳ね返され、1点のリードを許して折り返す。後半は積極的な攻めを見せて、サイドの突破などからチャンスを作り出す。だが、シュートは相手GKの好守や正面に行くなどして得点にならず。全国にあと一歩届かず、涙をのんだ。

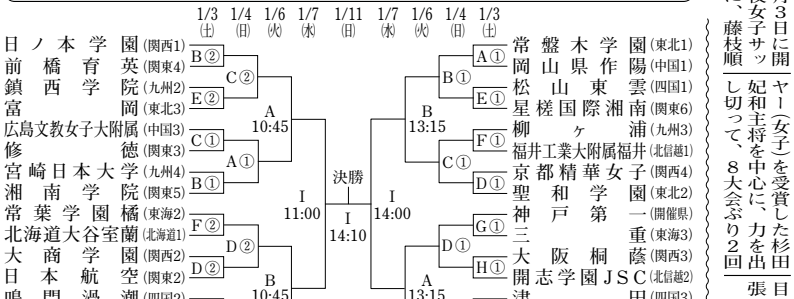
2連覇を目指した藤枝東は、静岡学園と対戦した。前半は相手の攻勢に押され、16分に右サイドからの折り返しを蹴り込まれて、今大会初失点となる先制弾を決められる。藤枝東もカウンターを狙うが跳ね返され、1点のリードを許して折り返す。後半は積極的な攻めを見せて、サイドの突破などからチャンスを作り出す。だが、シュートは相手GKの好守や正面に行くなどして得点にならず。全国にあと一歩届かず、涙をのんだ。

藤枝東 VS 静岡学園

なお、試合終了後に行われた表彰式で、大会の表彰選手が発表され、ベストイレブンに選ばれた、大塚聖磨（ともに藤枝明誠3年）、大場淳矢、小谷春日（ともに藤枝東3年）、優秀GKに長沢祐弥（藤枝東3年）の4選手が選出された。また、優秀レフリーに相良高校の齋藤通也教諭が選ばれた。

決勝戦試合結果
静岡学園 1－0 藤枝東

全日本高校女子サッカー選手権大会　組み合わせ



＜会場＞A：三木総合防災公園陸上競技場
B：三木総合防災公園第２陸上競技場
C：みきぽうパークひょうご第１球技場
D：みきぽうパークひょうご第２球技場
E：いぶきの森球技場Aグラウンド
F：いぶきの森球技場Cグラウンド
G：五色台運動公園メイングラウンド
H：五色台運動公園サブグラウンド
I：ノエビアスタジアム神戸

第23回 藤枝市長杯争奪 ジュニアユースサッカー大会
16チームで開催

藤枝市長杯争奪ジュニアユースサッカー大会は、県内外からトレセンやクラブなどの8チームを招いて、12月23日から25日まで藤枝総合運動公園などで開催される。中西部からは、中体連の中西部アカデミーに藤枝、榛原、島田、焼津の各地区トレセン、そして、これまでは中西部クラブ選抜が出場していたが、今回は藤枝東FC、藤枝明誠SC、BANREYO RE岡部SCのクラブ3チームが単独で出場し、計8チームが参加する。

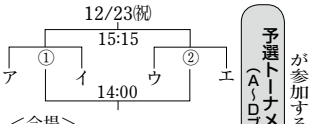
大会は16チームが4組に分かれて予選トーナメントを行い、各組の上位2チームの8チームが決勝トーナメントへ、下位2チームの8チームが3位・4位トーナメントへそれぞれ進み、順位を争う。公式戦を終えた3年生主体で多くが出場する中西部勢のチームにとって、継続したトレーニングの成果を確認できる良い機会となる。

予選トーナメントブロック分け

Aブロック	ア	藤枝TC
	イ	エスポワール白山
	ウ	中西部アカデミー
	エ	GAフットボールクラブ
Bブロック	ア	藤枝東FC
	イ	浜松中体連選抜
	ウ	榛原TC
	エ	名古屋TC
Cブロック	ア	焼津TC
	イ	白山TC
	ウ	BANREYORE岡部SC
	エ	千葉県中体連選抜
Dブロック	ア	藤枝明誠SC
	イ	岡崎TC
	ウ	島田TC
	エ	VIVAIO船橋SC

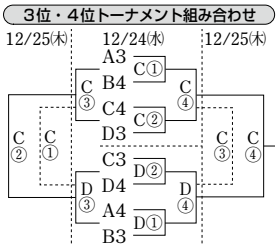
中西部勢はトレセンとクラブ3チームが参加

予選トーナメント組み合わせ（A～Dブロック共通）

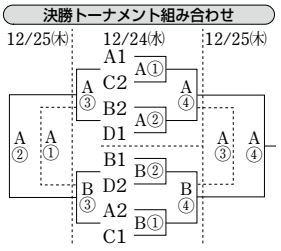


＜会場＞
A：藤枝総合サッカー場
B：藤枝総合陸上競技場
C：藤枝市民グラウンド
D：藤枝明誠高校グラウンド
＜時間＞
A＝①9:45　②11:00
B～D＝①10:00　②11:15

3位・4位トーナメント組み合わせ



決勝トーナメント組み合わせ



＜会場＞A：藤枝総合サッカー場　B：藤枝総合陸上競技場
C：藤枝市民グラウンド　D：藤枝東高校グラウンド
＜時間＞12/24＝①9:30　②11:00　③13:30　④15:00
12/25＝①9:00　②10:30　③13:00　④14:30

高校選手権県大会 表彰選手

ベストイレブン

齋藤 通也
相良高校教諭

優秀レフリー

長沢 祐弥
藤枝東3年

優秀ゴールキーパー

MF
小谷 春日
藤枝東3年

MF
大塲 淳矢
藤枝東3年

MF
大塚 聖磨
藤枝明誠3年

DF
濱 託巳
藤枝明誠3年

新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部２種技術委員
大塚　智紀

～ 全国高校サッカー選手権県大会を振り返って ～

第93回を迎えた高校選手権決勝は、静岡学園が4年ぶり11度目の優勝で幕を閉じた。静岡学園は、全員が高い技術を持ち簡単にボールを失わない。また攻撃ばかりに目を奪われがちだが、守備においても最後まで粘り強く足を出せる。攻守において、ディシプリン（チームの決まり事）をもって大いにハードワーク（休みなく働くこと）をすることが感じられた。

一方、中西部地区の活躍は、藤枝東が決勝に進出、藤枝明誠が準決勝進出、焼津中央と榛原が2次リーグ進出という結果であった。特に藤枝明誠は、準決勝でPK戦の末敗れたが、優勝してもおかしくないような試合内容だったと感じた。この地域の活躍の背景には、各種別の指導者間のリレーションはもちろんのこと、各地区のトレセン活動の成果でもある。しかしながら、大会の印象としては強烈な個性を持った選手が見られなかった。同じようなプレースタイルの選手が多く、特徴が見えにくい。まずは指導者自身が個性を持ち、そして選手の個性や特徴を見抜く目を養わなければならない。簡単なことではないが、もっと個の育成に力を入れなければいけないと痛感した。

また最近の静岡県の全国大会での戦績を見ると、より一層の奮起が求められる。目標設定にもよるが、昨年は全国総体、国体、選手権と全てにおいて初戦敗退。今年も、全国総体2回戦敗退、国体初戦敗退と苦しい状況が続いている。以前では、「全国で勝つよりも静岡で勝つほうが難しい」と言われていた。再び静岡から、この地域から、全国で優勝するチームが出るように指導者も学び、成長していかなければならない。